

横浜乳がんタウンホールミーティングのご報告

7/30 に横浜日石ホールにて横浜乳がんタウンホールミーティングが開催されました。大勢の方にご来場頂き、盛況の内に終了する事ができました。

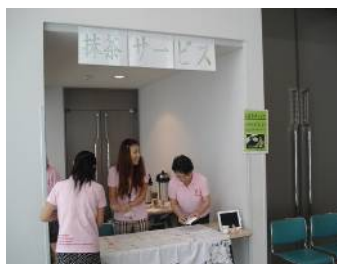


第一部の対話式ディスカッションは、オバマ大統領が人々の輪の中に入って話し合いを行なうのと同様の形式を用いて、進行役の土井卓子医師を取り囲む形で行なわれました。

ディスカッションはケーススタディをメインに行なわれ、乳房を温存するか再建するか、ホルモン剤を使用するか、抗がん剤を使用するか、またそれぞれの場合の治癒率（再発率）はどの程度になるかなど、具体的な事例が用いられ、参加者からも積極的な質疑があり、関心の高さが伺えました。

第二部の講演は、埼玉医科大学医療センター精神腫瘍科診療科長の大西秀樹医師により、がん患者のうつ病の判断基準や心のケア方法などが紹介されました。

第二部でも積極的な質疑がありましたが、大西医師からは丁寧な回答を頂く事が出来、参加された方々は多くの情報を共有出来た事に満足されていたようです。



会場前のロビーでは、お抹茶やハンドマッサージなどのサービスが行なわれました。

開演前や休憩時間のみの利用にも関わらず、いずれも多くの方々が賑わっていました。

また、第一部の最後には、ダンサーの黒住千尋さんによる、素敵な創作ダンスが披露され、第二部開始前には、岡橋優子さんによる、楽しい体操指導により、皆さんリラックスが出来たようです。

短い時間でしたが、非常に充実した内容のタウンホールミーティングとなり、参加した多くの方々にご満足頂けたようです。

厳しい暑さの中、多くの方にご来場して頂きまして、ありがとうございました。